

個人投資家さま向け説明会

KDDIの 事業概要と成長戦略

2019年9月7日

KDDI株式会社

執行役員

コーポレート統括本部 副統括本部長

本田 弘樹



本日のご説明

1. KDDIについて

2. 成長戦略

－ 2020.3期～2022.3期 中期経営計画－

3. 株主還元

この配付資料に記載されている業績目標、契約数目標、将来の見通し、戦略その他の歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは国内外の経済環境、競争状況、法令・規制・制度の制定改廃、政府機関の行為・介入、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績、契約数、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

1. KDDIについて

会社概要



代表取締役社長

たか はし まこと
高橋 誠

商 号	KDDI株式会社		株価/単元株式数	2,835円/100株	*3
創 業	1984年6月1日		時価総額	6.7兆円	*3
主要株主の 状況 *1	京セラ株式会社	13.23%	配当利回り	3.88%	*4
	トヨタ自動車株式会社	11.78%			
資本金	1,419億円		PBR (株価純資産倍率)	1.59倍	*5
連結従業員数	41,996人 *2		PER (株価収益率)	10.73倍	*6
証券コード	東京証券取引所第一部 9433				

*1：出資比率ベース（2019年3月末時点） *2：2019年3月末時点 *3：2019年8月30日終値ベース *4：2019年3月期配当予想と2019年8月30日終値より算出 *5：2019年3月期実績と2019年8月30日終値より算出 *6：2020年3月期EPS予想と2019年8月30日終値より算出

沿革

携帯電話の普及

スマートフォンの浸透

通信とライフデザインの融合

2000年
KDDI発足



2002年
「着うた」開始



2004.3期～2008.3期
純増シェア 5期連続No.1



2011年
KDDI初の
iPhone発売



2012年
auスマートバリュー



スマホ インターネット

2014年
「au WALLET」開始



2016年
「auでんき」開始



2017年
「Wowma!」開始



2018年
教育事業参入

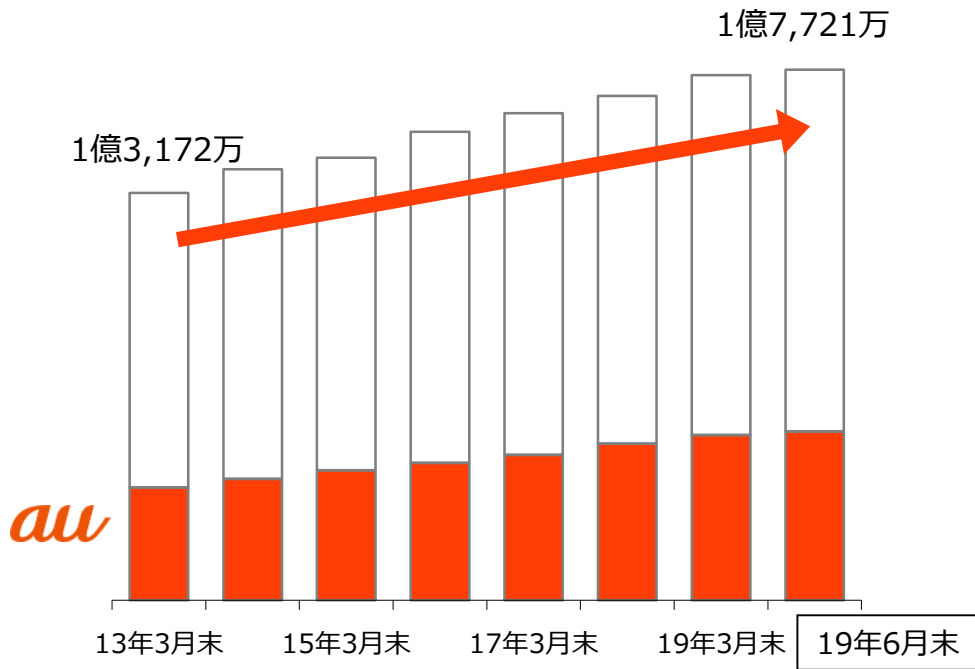


2019年
auフィナンシャル
ホールディングス
設立



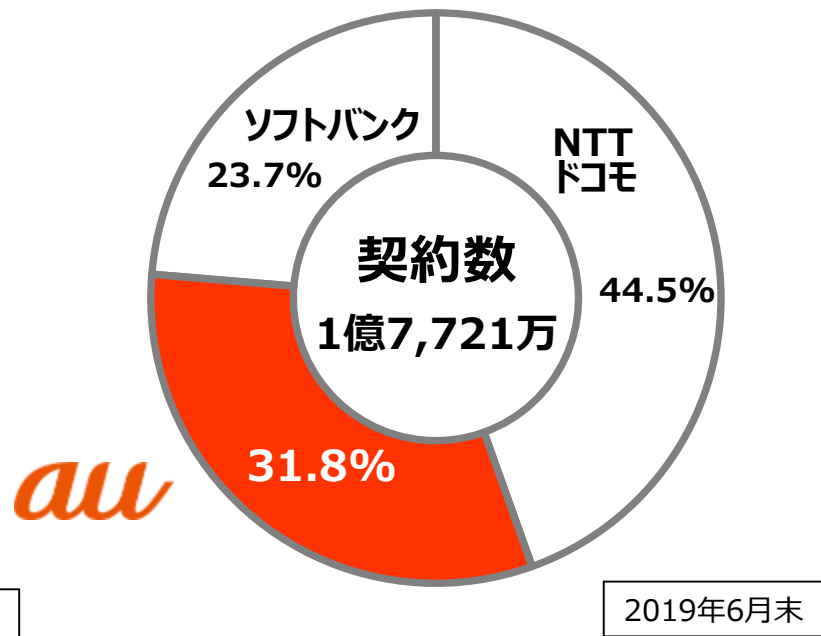
日本のモバイル通信市場

携帯電話契約数



出典：一般社団法人電気通信事業者協会、事業者別契約数

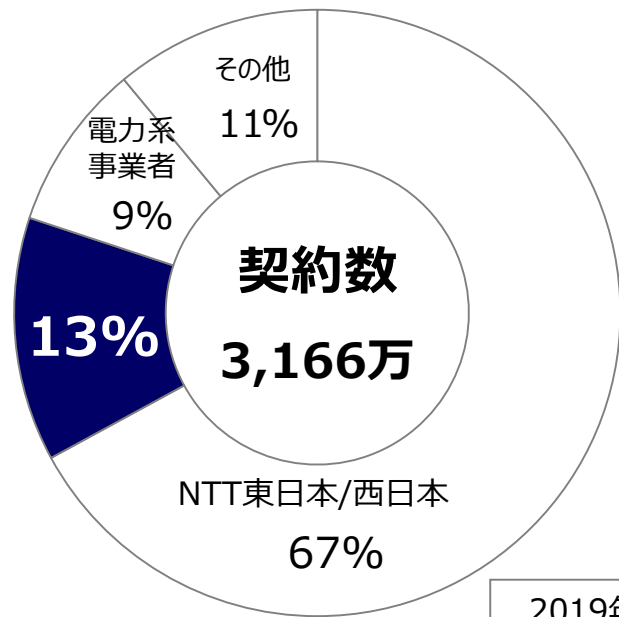
市場シェア



出典：3社間シェア（NTTドコモ、ソフトバンク、au）PHSを除く ※四捨五入ベース
一般社団法人電気通信事業者協会、事業者別契約数

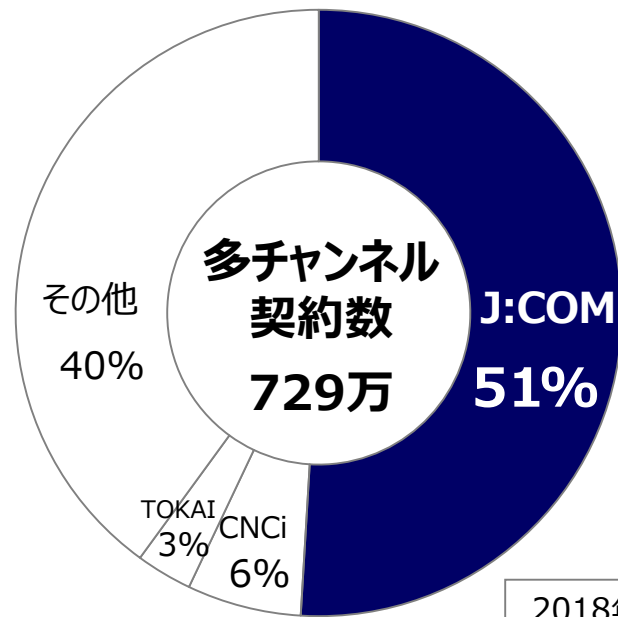
日本の固定通信市場

光ファイバー(FTTH) 市場シェア



注) 電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表
出典：総務省

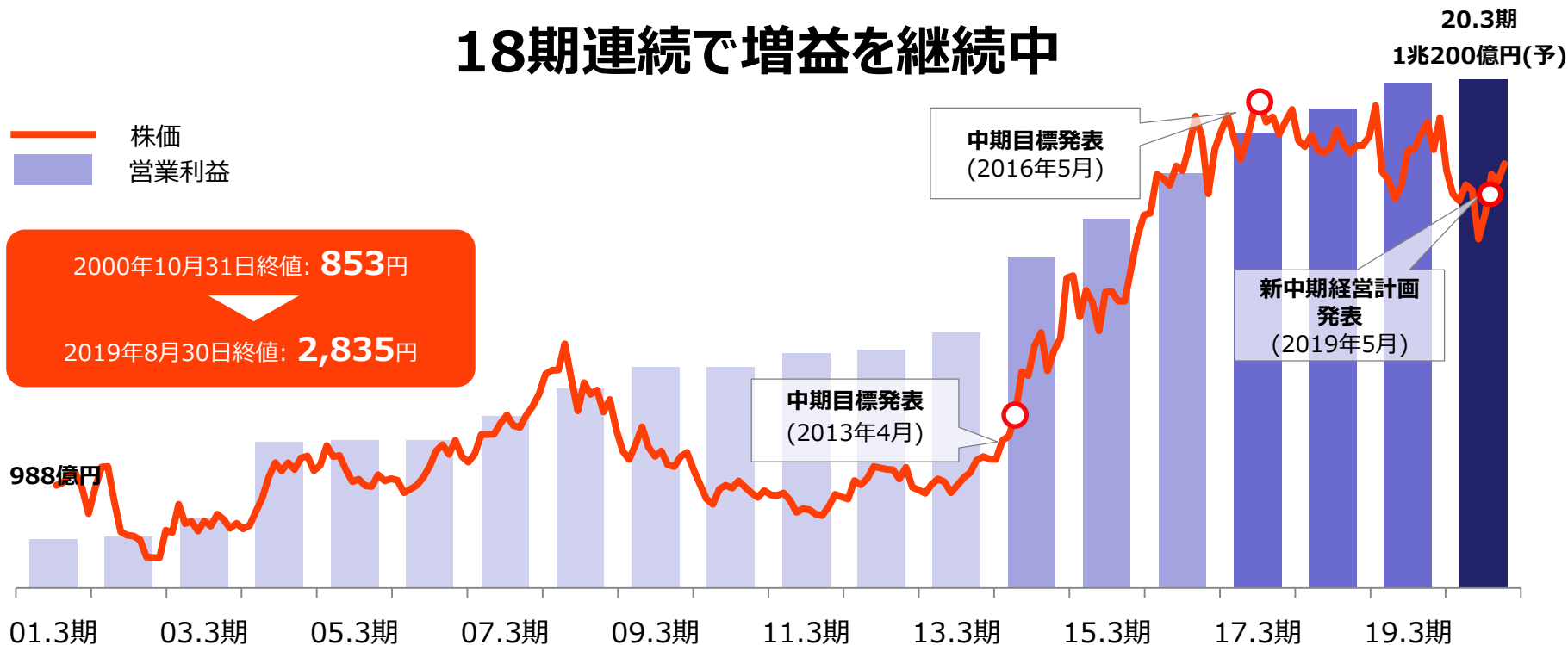
ケーブルテレビ 市場シェア



注) 放送ジャーナル（2018年12月号）を基に当社作成

株価と営業利益の推移

18期連続で増益を継続中



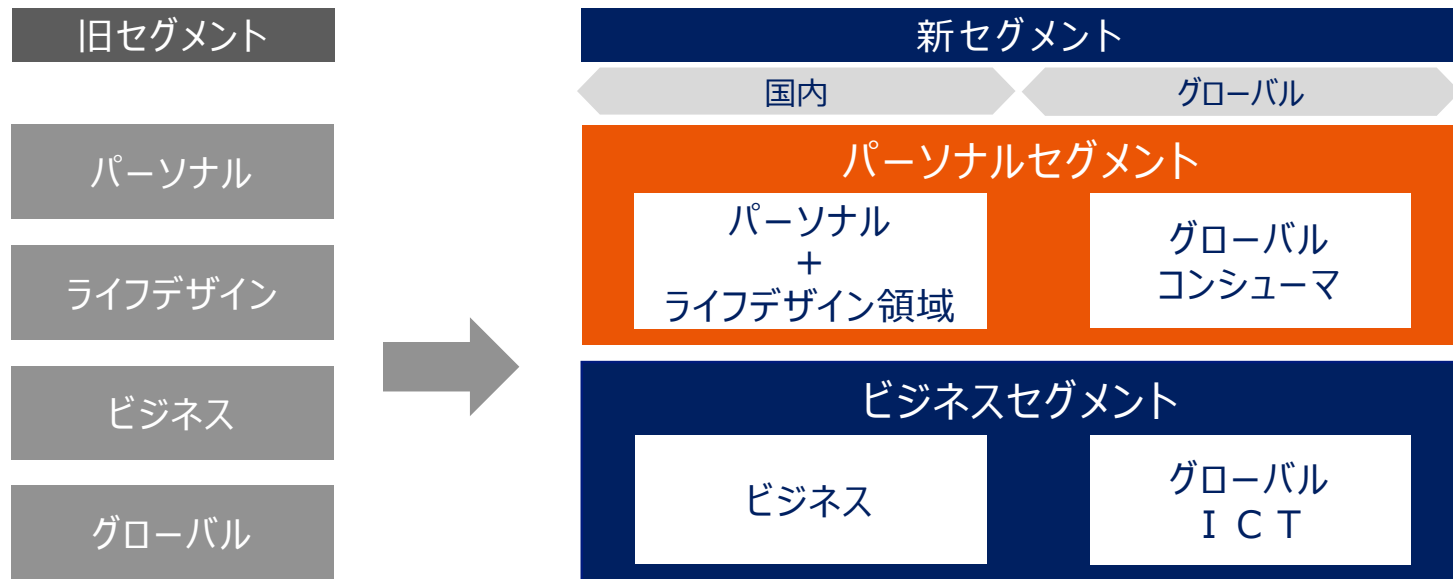
2. 成長戦略

2020.3期～2022.3期

中期経営計画

新中期経営計画におけるセグメント

グローバル事業を国内事業の延長に位置づけを変更



事業戦略の方向性

5G時代に向けた イノベーションの創出



通信とライフデザインの融合



グローバル事業の さらなる拡大



ビッグデータの活用



金融事業の拡大



グループとしての成長



サステナビリティ



5G時代に向けた イノベーションの創出



あらゆるモノがつながり続け 通信が溶け込む時代へ



1990

1G
~2G

2000

3G



2010

4G



2020

5G

携帯電話
(音声)モバイル
インターネット

スマートフォン

新たなサービス

5G時代を先取りした、データ容量の 上限を気にすることなく楽しめるプランを導入

NEW!

au データMAXプラン Netflixパック

9月13日 受付開始



パートナー企業さまとの連携で 5Gによるイノベーションを創出



スマート工場



自動運転



遠隔操作



遠隔医療



自由視点
スタジアム観戦

パートナー企業さま

通 信

5G

×

オープンイノベーション



×

プラットフォーム

5G/IoT
プラットフォーム

パートナー企業さまとの取組み

5G時代の新たなプラットフォームを整備

スマートドローン



Tomorrow, Together



共同で
ドローンプラットフォームを提供

MaaS (Mobility as a Service)

The NAVITIME logo, featuring the word 'NAVITIME' in a white, serif font on a green rectangular background.

NAVITIME

Tomorrow, Together

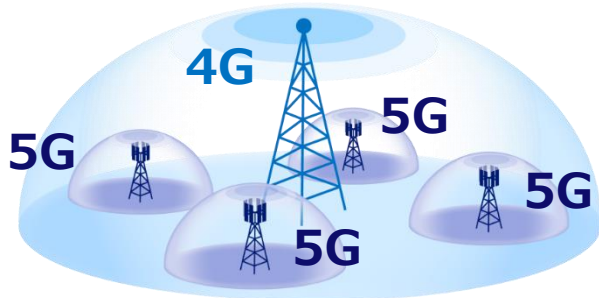


交通にイノベーションを提供

5G時代に向けた基盤整備

高品質なエリア構築と効率的な基地局整備を両立

ネットワーク



ピカピカな4G+スペシャルな5G
＝ハイブリッドネットワーク

地方におけるインフラシェアリング

＝ SoftBank

Tomorrow, Together

KDDI

2019年秋から北海道旭川市内、
千葉県成田市内、
広島県福山市内で共同実証予定

通信と ライフデザインの融合

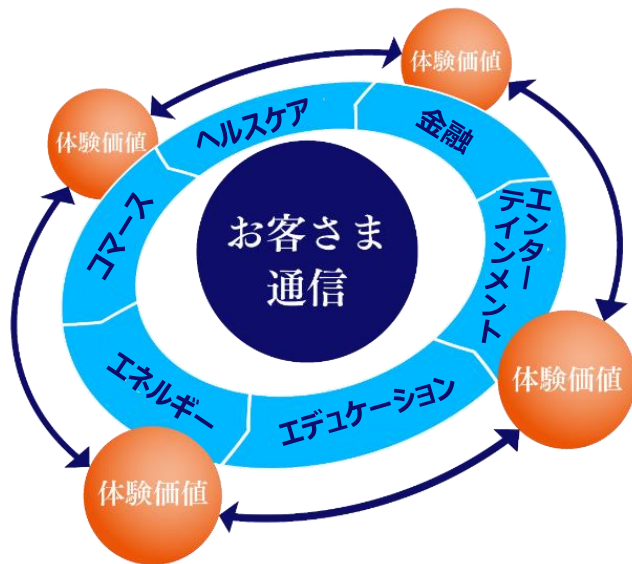


通信とライフデザインの融合

基盤となる通信を核に成長事業を拡大

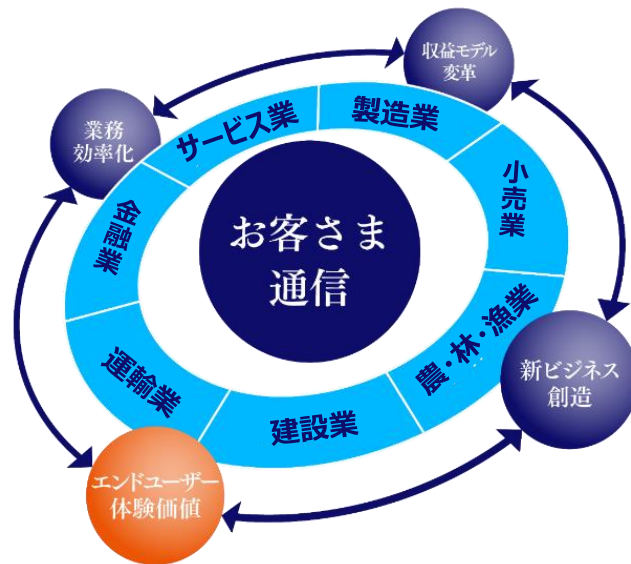
個人のお客さまに向けて

スマートフォンを起点にライフデザインサービスの事業を拡大
お客さまに「ワクワク」する体験価値をご提案する



法人のお客さまに向けて

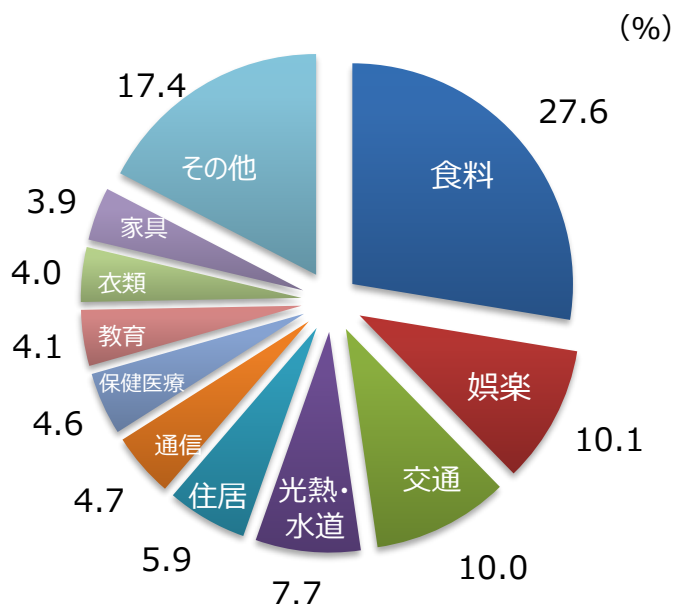
お客さまと共に新たなビジネスモデルを構築
お客さまのDX推進をサポートする



ライフデザインの事業領域

生活のあらゆるシーンにおいてお客さまとの接点を拡大

家計消費支出の構成比（2人以上の世帯）＊



(リアル)

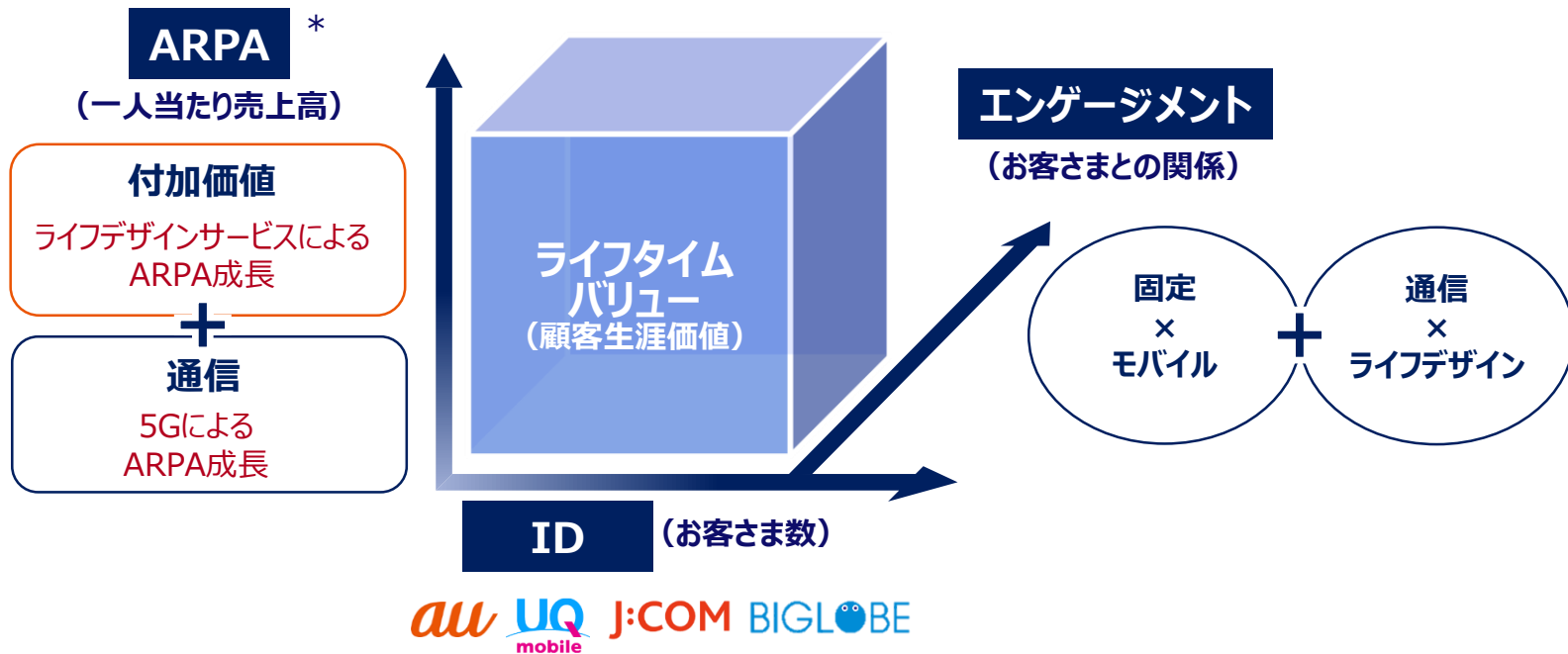


(オンライン)



お客さま接点

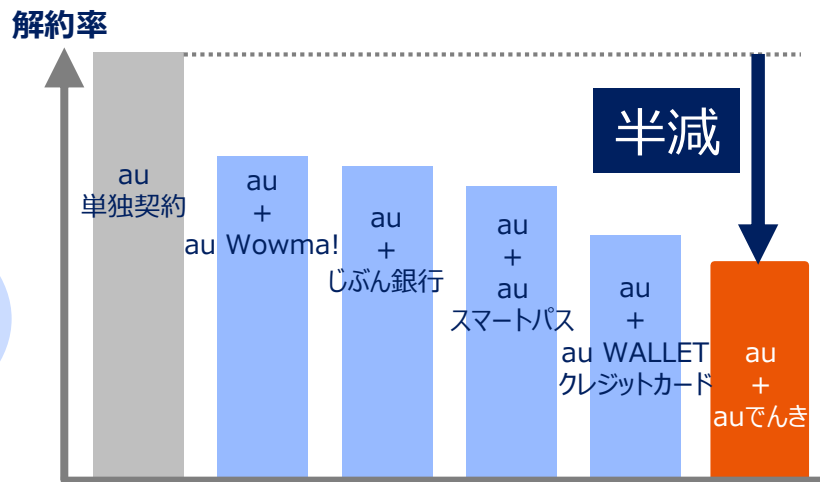
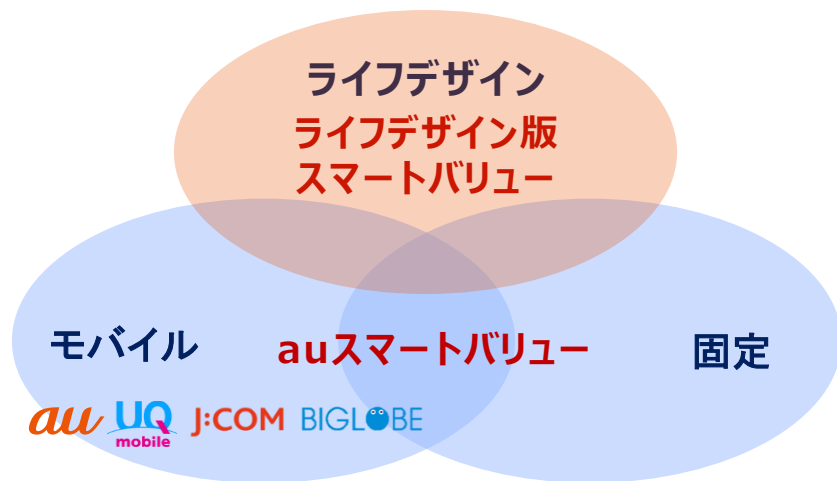
ライフタイムバリューの最大化



*Average Revenue Per Account

お客さまとの関係を深化

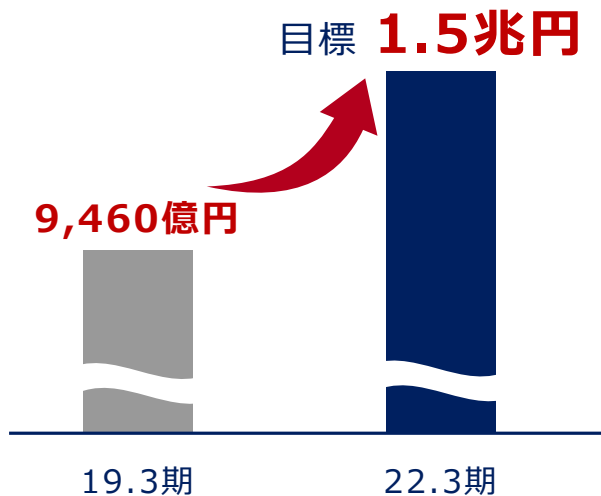
通信＋でんきやクレジットカードなどのセット利用で
解約率が大幅に低減



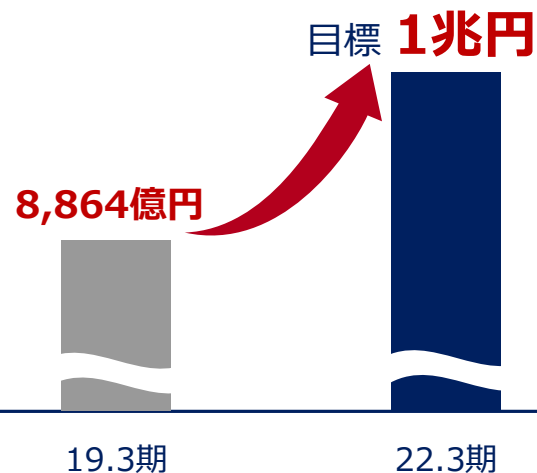
成長領域の売上拡大

通信とライフデザインの融合でさらに成長を加速

ライフデザイン領域 売上高



ビジネスセグメント 売上高





グローバル事業の
さらなる拡大

市場の拡がり

世界IoT市場へ拡大

2020年 IoT市場規模

日本
14兆円市場

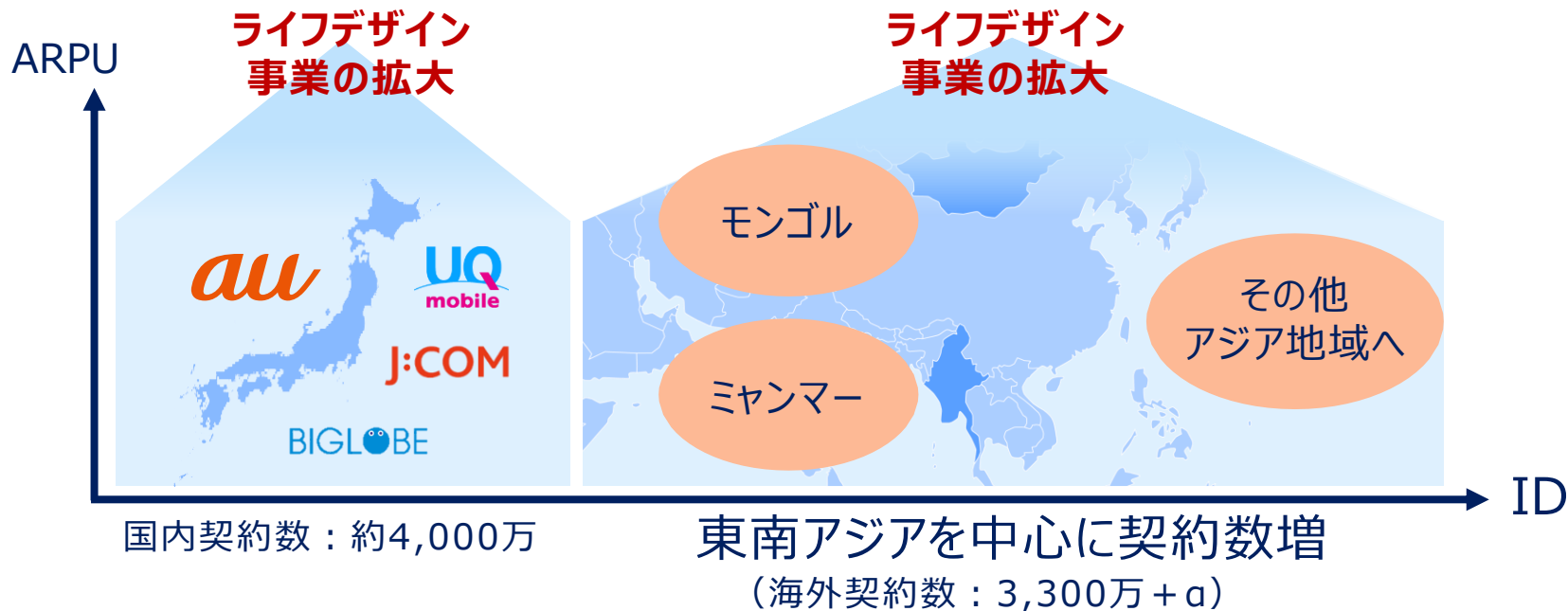
約 18 倍

世界
247 兆円市場

※出典：JEITA「注目分野に関する動向調査2017 CPS/IoT市場の地域別・世界需要額見通し」
※ 2018年6月7日発表資料「KDDI 日立製作所 IoT事業の取り組みに関する共同会見」より抜粋

グローバルコンシューマ

「通信とライフデザインの融合」モデルを海外へ展開



グローバルICT

グローバルパートナーと共にお客さまのビジネスをサポート

つながるクルマ

TOYOTA

トヨタスマートセンター

グローバル通信
プラットフォーム



コネクティッドサービス

グローバルで
サポート

KDDI

応用・発展

あらゆるモノがつながるIoT

KDDI 「IoT世界基盤」

HITACHI

TOSHIBA

グローバル通信
プラットフォーム

 SORACOM



工場・ビル設備・家電・建設機械など

金融事業の拡大



金融事業の戦略

スマートフォンで使える便利な金融サービスを拡充



銀行・決済・保険・証券などの金融サービスが スマホでいつでもご利用可能



ポイントを貯める



ポイントを運用する



じぶん銀行アプリ

中期経営計画サマリー

持続的成長と、より一層の株主還元強化の両立を目指す

25.3期目標	EPS成長（一株当たり当期利益）		19.3期→25.3期	1.5倍
20.3期-22.3期 の取組み	売上高成長	● ライフデザイン領域 売上高	22.3期 目標	1.5兆円
		● 新ビジネスセグメント 売上高	22.3期 目標	1兆円
	コスト削減等		3年累計	1,000億円規模
	株主還元		・配当性向40%超 ・機動的な自己株買い ・全ての自己株式を消却*	

*役員報酬BIP信託口及び株式付与ESOP信託口が保有する当社株式を除く



3. 株主還元

2019年の株主優待制度

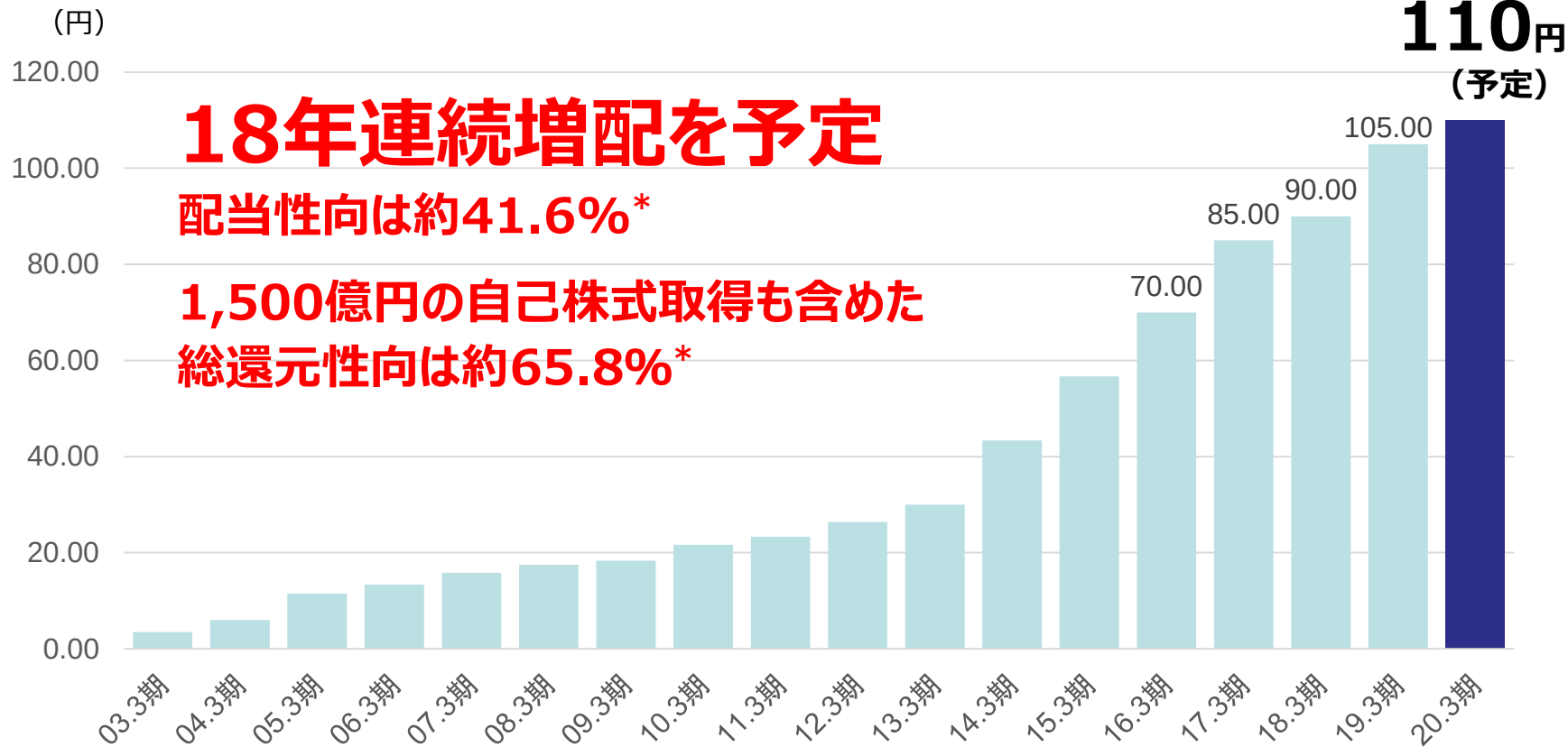
「全国47都道府県のグルメ品」から、「au Wowma!」
の商品を自由にお選びいただけるカタログギフト



(保有株式数)			
1,000株 以上	5,000円 相当	10,000円 相当	
	3,000円 相当	5,000円 相当	
100～ 999株	5年未満	5年以上 (保有期間)	

- * 今後の業績動向や会社方針などの様々な要因によって、制度の廃止を含む、優待制度そのものの見直しまたは内容変更が行われる可能性があります
- * 3月31日時点の株主名簿に記録された、1単位（100株）以上保有の株主さまが対象

1株当たり配当金



注) 株式分割調整後の値 (少数第3位以下を四捨五入)

* 2019年8月1日発表の情報を基に算出

株主還元 まとめ

	金額
最低投資金額 (100株) *1	283,500円
株主優待 (年1回) *2	3,000円
年間配当金 (20.3期予定)	11,000円
株主優待 + 年間配当金 (トータル利回り)	14,000円 (4.94%)

*1 : 2019年8月30日終値ベース

*2 : 3月31日時点の株主名簿に記録された、1単元（100株）以上保有の株主さまが対象

まとめ

- 【1】新中期経営計画を発表
- 【2】「通信とライフデザインの融合」で**ライフデザイン領域
売上高1.5兆円**（22.3期）を目指す
- 【3】**新ビジネスセグメント売上高1兆円**（22.3期）を目指す
- 【4】**配当性向40%超、機動的な自己株買いを実施**



持続的成長とより一層の株主還元強化を両立

Tomorrow, Together



おもしろいほうの未来へ。



免責事項

この配付資料に記載されている業績目標、契約数目標、将来の見通し、戦略その他の歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは国内外の経済環境、競争状況、法令・規制・制度の制定改廃、政府機関の行為・介入、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績、契約数、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。